

一、次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(字数指定がある問いでは、句読点・記号なども一字として数えます)

「ね、成瀬くん。今度の特別授業のことなんだけど。今学期の職業紹介のお話は、成瀬くんのお母さんをお願いしたいのよ」

「えっ？」

思わず立ち上がっていた。

「広告代理店で活躍かつやくされているでしょう。このあたりでは、^①そういうお仕事おしごとされている人はいないから、みんなすごく興味があると思うの」

うわっ、きた！

*1さくま

②
そういえば、佐久間のおじさんが帰ったあと、いやな予感がしたんだっけ。先生が、次の特別講師の希望があったらいつてきてください、みたいなことをいったときだ。咲良が意味深な目で、ぼくをふり返ったのを思い出した。

③
ぼくは首を回して、咲良を思いつきりにらみつけた。咲良は最初からそっぽを向いている。でも、先生の話には耳をそばだてているのがわかる。

ぼくは、どさつ、と音をたてて椅子いすにすわり、聞こえよがしに断言した。

「ぜったい無理だと思います。チョー忙いそがしいから、休みなんか取れません。ぼくんとこにも、土日に来るか来ないかです」

「うーん、そうか……。無理かなあ。そこをなんとかお願いできると、うれしんだけどなあ……」

「ぜんぜんだめだと思います」

「うーん。ま、また、あとで……」

④
そろそろ全員が席についていた。先生はうなりながら戻もどっていった。

想像するだけでうんざりだ。ママがみんなの前に立って、仕事の話をするなんて……。

きつとしやべりまくって、止まらなくなるにちがいない。第一、張り切つてどんなかつこうをしてくるか、考えただけでも恐おそ

ろしい。真っ赤なスーツを着て、アイラインを二倍の太さに描^かいてきたりしたら、どうしよう。浮^ういちゃって、大変だ。
先生が直接ママに頼^{たの}んでも、ぜったい断るようにいわなくちゃ。

夜になるまで待てなかった。うちに帰ってすぐ電話した。つながったとたん、

「翔^{しょう}ちゃん？　今、会議中。あとで」と、切られた。三十分後、また電話したら、「お客さんとミーティング中よ。あとで、あとで。緊急^{きんぎゅう}じゃないでしょ」と、切られた。

夕方、ママの方からかけてきた。

「さつきは、ごめん、ごめん。で……？」

「あのさあ、一学期にもあつたんだけど、特別授業つてのがあるの。職業紹介つていうのでさあ……」

「ああ、その話ね。羽深^{はふか}先生からお電話いただいたわ。せつかくだから、お引き受けしました」

「うそつ。いつ？　いつ電話あつたの？」

「うーん、何時だったかな？　今日の午後よ」

会議やミーティングの合間をぬつて？　するつとつながったわけ？　先生、一体、どういうタイミングで電話したんだよ。

「ねえ、ママ、やめてよ。やめた方がいいよ。お休みだつて、取れないでしょう」

⑤「いつも取れないから、たまにはがんばって取ることにしたわ」
がんばり方がちがうだろう。

翌朝、羽深先生がうれしそうに発表した。

「今度の職業紹介は、成瀬^{みなこ}美奈子さんをお願いすることになりました」

みんなが、いつせいにぼくをふり返った。

「東京の広告代理店で、CMのお仕事をされています。みんなもテレビで知っている「スター・ビル」や「チーズ・イン・せんべい」などの宣伝も、担当されたことがあるそうです」

「わーっ」

と、感嘆^{かんだん}の声があがった。

「すげー」

「小杉雄太と知り合いかな？」

「サインとかもらえるのかな？」

小杉雄太というのは、スター・ビールのCMに出ていた野球選手だ。

佐久間だけが同情してくれた。いや、同情つていうのとも、ちよつとちがう。

⑥「 」

そういつたのだ。勝ち誇^かった口調に近かった。

特別授業の前日、ママはぼくが寝^ねる時間になつても着かなかつた。

⑦「そんなに忙しいなら、引き受けなければよかったじゃん。特別授業なんか、このまま踏み倒^{ふたお}しちゃえばいいのに。なかなか寝^ねつかなかつた。」

翌朝、おばあちゃんに起こされたときには、ママはとなりの部屋で眠^{ねむ}っていた。

「昨日、おそかったんだから、まだ寝かしといてあげなさい」

おばあちゃんがささやいた。

夜中にタクシーを飛ばしてやってきたらしい。

「ねえ、ママ！　ママってば！」

ぼくはかまわず、ママをやり起こした。

「んん……翔ちゃん？ 今、何時？ あら、ずいぶん早いねえ。いやあ、まいったわあ。授業の準備をする時間が、なかなか取れなくて」

そんなこと、どうでもよかった。

「ねえ、ママ。たのむからさ。今日は地味ーなかつこうで来てよね。メイクもやめといてよ」^⑧

「ええ？ この歳で、ノーメイクじゃ外に出られないわよ」

「じゃあ、いつもよりも控え目ということで。いーい？ わかった？」

「了解、了解。お願いだから、もうちよつと寝かせて……」^⑨

特別授業は三時間目だった。朝からみんな、なんとなくそわそわしていた。二時間目の国語が終わるころになっても、ママが現れる気配はない。

家でまだ寝てるわけじゃないよね。ちよつと心配になった。

休み時間に入る寸前、羽深先生が声を張り上げた。

「次はいよいよ職業紹介の時間でーす。みんな、理科室に移動してー」

じゃあ、ママは直接、理科室に行ったのか。

ぼくは廊下を **A** 歩き、みんなにまぎれるようにして理科室に入っていた。

ママは腕を組み、にこやかに笑いながら、窓を背にして立っていた。よゆうたつぷりの表情だ。何時間か前、「もうちよつと寝かせて……」などと、うなづいていたのとは別人だ。黒のパンツスーツに、小さいゴールドのブローチとピアス。地味にまとめたつもりらしいけど、ほら、伸ばした爪が赤いじゃん。

黒板は映写用のスクリーンで隠れていた。横にずらした教卓の上には、ママのノートパソコン。スクリーンの正面には、小さな台の上にプロジェクターがセットされている。佐久間のおじさんのときは、えらいちがいだ。

*2

会社でやるプレゼンじゃあるまいし、「パワーポイント」なんか使うなよ。黒板に手書きの説明でいいじゃん。

みんな興味しんしんだ。ママをじろじろ盗み見ながら、グループに分かれて実験用の机についた。机の上には、生徒に渡すプリントが、会社のロゴ入りえんぴつと共に人数分ずつ用意されていた。^⑩

準備ばんだん、整っている。プロっぽい。というより、プロなのだ。それだけで、みんなはすでに感動の面持ちだ。遠慮がちにえんぴつを取り上げると、**B** とロゴをながめ、まるで会社の会議室にでもすわっているような気分になっていた。

ぼくはどんな顔をしてママを見たいのか、わからなかった。ママはにっと笑って、右手の指だけを **C** させ、ぼくに合図を送ってよこした。もちろん、ぼくは無視したけど。

羽深先生があらためてママを紹介した。ママと並んで立つと、先生はまるで子どもみたいに見えた。

後ろのドアが開く音がした。ちらつと振り返ると……校長先生だ。校長先生のあとからは、ちよつと授業がない先生や保健の先生が、三人もぞろぞろ見学に入ってきた。きつとママのことは、先生たちの間でもウワサになっているのだろう。

ママはちつとも動かない。

「みなさん、こんにちは。広告代理店で営業の仕事をしている成瀬です。短い時間ですが、今日は宣伝のことをお話ししてみましよう。」

ひとり一部ずつ、レジュメを用意しましたが、わたしがお話しすることのまとめですので、今は使わなくてけっこうです」

「レジュメって何？」

ひそひそいう声が聞こえた。

「だからあ、まとめってことじゃないの」

だれかがささやき返している。

「みなさんは、広告とか宣伝という言葉聞いたとき、まずどんなものを思い浮かべますか？」

テレビのCM、ラジオ、新聞や雑誌の広告、チラシ。最近はインターネットも重要ですね。バスや電車の中づり、ダイレクトメ

「ル……。いろんなものがあるわね」

ママはスクリーンに最初に映しだされたリストを、「レーザー・ポインター」でさしながら、子ども向けにゆっくり話した。ポインターは、赤い光線が出るタイプのものだ。

「あれに似た刀、『スター・ウォーズ』に出てきたよね？」

⑪ 陸の声にちがいない。

「こういう宣伝の方法を、わたしたちは『媒体』と呼んでいるんですが、宣伝する製品によって、どういう媒体を選ぶかが大事なんです。

たとえば、お人形さんの宣伝を例にとつて考えてみましょう。かわいいお人形さんです。ラジオで宣伝しても、かわいさは見えませんね。テレビならいいかもしれません。でも、そのCMを子どもが寝ている真夜中に流したのでは、全く効果がありません。女の子が好んで見るような番組で流さないと、だめですね。女の子に『これがほしい』と、いってもらわないと、お人形は売れないんです。

少ない費用で、売り上げを最大限に上げる——そのために、それぞれの製品について、どういう媒体を使って、どんな宣伝を、いつ、どのくらいの量、流すか。そんなことを考えて、実行する。わたしはそういう仕事をしています。

もちろん、ひとりですることができる仕事ではありません。製品のメーカーの方、CMの制作担当者をはじめ会社の様々なスタッフ、新聞社やテレビ局の担当者などなど、たくさんの人たちがかわつてきます。

⑫ では、もうちょっと具体的にお話ししてみましょう」

⑬ みんな息をひそめるようにして、一心に耳を傾けていた。

ぼくはぼうとママを見つめていた。まるで初めて見る人みたいな気がした。

考えてみたら、こんなふうに筋道だつて仕事の話を聞いたことは、一度もない。なぜだかわからないけれど、胸がしめつけられるような感じがした。

ママの話に割り当てられた時間は、三十分。ママは⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ⑳ ㉑ ㉒ ㉓ ㉔ ㉕ ㉖ ㉗ ㉘ ㉙ ㉚ ㉛ ㉜ ㉝ ㉞ ㉟ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿ ㏀ ㏁ ㏂ ㏃ ㏄ ㏅ ㏆ ㏇ ㏈ ㏉ ㏊ ㏋ ㏌ ㏍ ㏎ ㏏ ㏐ ㏑ ㏒ ㏓ ㏔ ㏕ ㏖ ㏗ ㏘ ㏙ ㏚ ㏛ ㏜ ㏝ ㏞ ㏟ ㏠ ㏡ ㏢ ㏣ ㏤ ㏥ ㏦ ㏧ ㏨ ㏩ ㏪ ㏫ ㏬ ㏭ ㏮ ㏯ ㏰ ㏱ ㏲ ㏳ ㏴ ㏵ ㏶ ㏷ ㏸ ㏹ ㏺ ㏻ ㏼ ㏽ ㏾ ㏿ 㐀 㐁 㐂 㐃 㐄 㐅 㐆 㐇 㐈 㐉 㐊 㐋 㐌 㐍 㐎 㐏 㐐 㐑 㐒 㐓 㐔 㐕 㐖 㐗 㐘 㐙 㐚 㐛 㐜 㐝 㐞 㐟 㐠 㐡 㐢 㐣 㐤 㐥 㐦 㐧 㐨 㐩 㐪 㐫 㐬 㐭 㐮 㐯 㐰 㐱 㐲 㐳 㐴 㐵 㐶 㐷 㐸 㐹 㐺 㐻 㐼 㐽 㐾 㐿 㑀 㑁 㑂 㑃 㑄 㑅 㑆 㑇 㑈 㑉 㑊 㑋 㑌 㑍 㑎 㑏 㑐 㑑 㑒 㑓 㑔 㑕 㑖 㑗 㑘 㑙 㑚 㑛 㑜 㑝 㑞 㑟 㑠 㑡 㑢 㑣 㑤 㑥 㑦 㑧 㑨 㑩 㑪 㑫 㑬 㑭 㑮 㑯 㑰 㑱 㑲 㑳 㑴 㑵 㑶 㑷 㑸 㑹 㑺 㑻 㑼 㑽 㑾 㑿 㒀 㒁 㒂 㒃 㒄 㒅 㒆 㒇 㒈 㒉 㒊 㒋 㒌 㒍 㒎 㒏 㒐 㒑 㒒 㒓 㒔 㒕 㒖 㒗 㒘 㒙 㒚 㒛 㒜 㒝 㒞 㒟 㒠 㒡 㒢 㒣 㒤 㒥 㒦 㒧 㒨 㒩 㒪 㒫 㒬 㒭 㒮 㒯 㒰 㒱 㒲 㒳 㒴 㒵 㒶 㒷 㒸 㒹 㒺 㒻 㒼 㒽 㒾 㒿 㓀 㓁 㓂 㓃 㓄 㓅 㓆 㓇 㓈 㓉 㓊 㓋 㓌 㓍 㓎 㓏 㓐 㓑 㓒 㓓 㓔 㓕 㓖 㓗 㓘 㓙 㓚 㓛 㓜 㓝 㓞 㓟 㓠 㓡 㓢 㓣 㓤 㓥 㓦 㓧 㓨 㓩 㓪 㓫 㓬 㓭 㓮 㓯 㓰 㓱 㓲 㓳 㓴 㓵 㓶 㓷 㓸 㓹 㓺 㓻 㓼 㓽 㓾 㓿 㔀 㔁 㔂 㔃 㔄 㔅 㔆 㔇 㔈 㔉 㔊 㔋 㔌 㔍 㔎 㔏 㔐 㔑 㔒 㔓 㔔 㔕 㔖 㔗 㔘 㔙 㔚 㔛 㔜 㔝 㔞 㔟 㔠 㔡 㔢 㔣 㔤 㔥 㔦 㔧 㔨 㔩 㔪 㔫 㔬 㔭 㔮 㔯 㔰 㔱 㔲 㔳 㔴 㔵 㔶 㔷 㔸 㔹 㔺 㔻 㔼 㔽 㔾 㔿 㕀 㕁 㕂 㕃 㕄 㕅 㕆 㕇 㕈 㕉 㕊 㕋 㕌 㕍 㕎 㕏 㕐 㕑 㕒 㕓 㕔 㕕 㕖 㕗 㕘 㕙 㕚 㕛 㕜 㕝 㕞 㕟 㕠 㕡 㕢 㕣 㕤 㕥 㕦 㕧 㕨 㕩 㕪 㕫 㕬 㕭 㕮 㕯 㕰 㕱 㕲 㕳 㕴 㕵 㕶 㕷 㕸 㕹 㕺 㕻 㕼 㕽 㕾 㕿 㖀 㖁 㖂 㖃 㖄 㖅 㖆 㖇 㖈 㖉 㖊 㖋 㖌 㖍 㖎 㖏 㖐 㖑 㖒 㖓 㖔 㖕 㖖 㖗 㖘 㖙 㖚 㖛 㖜 㖝 㖞 㖟 㖠 㖡 㖢 㖣 㖤 㖥 㖦 㖧 㖨 㖩 㖪 㖫 㖬 㖭 㖮 㖯 㖰 㖱 㖲 㖳 㖴 㖵 㖶 㖷 㖸 㖹 㖺 㖻 㖼 㖽 㖾 㖿 㗀 㗁 㗂 㗃 㗄 㗅 㗆 㗇 㗈 㗉 㗊 㗋 㗌 㗍 㗎 㗏 㗐 㗑 㗒 㗓 㗔 㗕 㗖 㗗 㗘 㗙 㗚 㗛 㗜 㗝 㗞 㗟 㗠 㗡 㗢 㗣 㗤 㗥 㗦 㗧 㗨 㗩 㗪 㗫 㗬 㗭 㗮 㗯 㗰 㗱 㗲 㗳 㗴 㗵 㗶 㗷 㗸 㗹 㗺 㗻 㗼 㗽 㗾 㗿 㘀 㘁 㘂 㘃 㘄 㘅 㘆 㘇 㘈 㘉 㘊 㘋 㘌 㘍 㘎 㘏 㘐 㘑 㘒 㘓 㘔 㘕 㘖 㘗 㘘 㘙 㘚 㘛 㘜 㘝 㘞 㘟 㘠 㘡 㘢 㘣 㘤 㘥 㘦 㘧 㘨 㘩 㘪 㘫 㘬 㘭 㘮 㘯 㘰 㘱 㘲 㘳 㘴 㘵 㘶 㘷 㘸 㘹 㘺 㘻 㘼 㘽 㘾 㘿 㙀 㙁 㙂 㙃 㙄 㙅 㙆 㙇 㙈 㙉 㙊 㙋 㙌 㙍 㙎 㙏 㙐 㙑 㙒 㙓 㙔 㙕 㙖 㙗 㙘 㙙 㙚 㙛 㙜 㙝 㙞 㙟 㙠 㙡 㙢 㙣 㙤 㙥 㙦 㙧 㙨 㙩 㙪 㙫 㙬 㙭 㙮 㙯 㙰 㙱 㙲 㙳 㙴 㙵 㙶 㙷 㙸 㙹 㙺 㙻 㙼 㙽 㙾 㙿 㚀 㚁 㚂 㚃 㚄 㚅 㚆 㚇 㚈 㚉 㚊 㚋 㚌 㚍 㚎 㚏 㚐 㚑 㚒 㚓 㚔 㚕 㚖 㚗 㚘 㚙 㚚 㚛 㚜 㚝 㚞 㚟 㚠 㚡 㚢 㚣 㚤 㚥 㚦 㚧 㚨 㚩 㚪 㚫 㚬 㚭 㚮 㚯 㚰 㚱 㚲 㚳 㚴 㚵 㚶 㚷 㚸 㚹 㚺 㚻 㚼 㚽 㚾 㚿 㜀 㜁 㜂 㜃 㜄 㜅 㜆 㜇 㜈 㜉 㜊 㜋 㜌 㜍 㜎 㜏 㜐 㜑 㜒 㜓 㜔 㜕 㜖 㜗 㜘 㜙 㜚 㜛 㜜 㜝 㜞 㜟 㜠 㜡 㜢 㜣 㜤 㜥 㜦 㜧 㜨 㜩 㜪 㜫 㜬 㜭 㜮 㜯 㜰 㜱 㜲 㜳 㜴 㜵 㜶 㜷 㜸 㜹 㜺 㜻 㜼 㜽 㜾 㜿 㝀 㝁 㝂 㝃 㝄 㝅 㝆 㝇 㝈 㝉 㝊 㝋 㝌 㝍 㝎 㝏 㝐 㝑 㝒 㝓 㝔 㝕 㝖 㝗 㝘 㝙 㝚 㝛 㝜 㝝 㝞 㝟 㝠 㝡 㝢 㝣 㝤 㝥 㝦 㝧 㝨 㝩 㝪 㝫 㝬 㝭 㝮 㝯 㝰 㝱 㝲 㝳 㝴 㝵 㝶 㝷 㝸 㝹 㝺 㝻 㝼 㝽 㝾 㝿 㞀 㞁 㞂 㞃 㞄 㞅 㞆 㞇 㞈 㞉 㞊 㞋 㞌 㞍 㞎 㞏 㞐 㞑 㞒 㞓 㞔 㞕 㞖 㞗 㞘 㞙 㞚 㞛 㞜 㞝 㞞 㞟 㞠 㞡 㞢 㞣 㞤 㞥 㞦 㞧 㞨 㞩 㞪 㞫 㞬 㞭 㞮 㞯 㞰 㞱 㞲 㞳 㞴 㞵 㞶 㞷 㞸 㞹 㞺 㞻 㞼 㞽 㞾 㞿 㟀 㟁 㟂 㟃 㟄 㟅 㟆 㟇 㟈 㟉 㟊 㟋 㟌 㟍 㟎 㟏 㟐 㟑 㟒 㟓 㟔 㟕 㟖 㟗 㟘 㟙 㟚 㟛 㟜 㟝 㟞 㟟 㟠 㟡 㟢 㟣 㟤 㟥 㟦 㟧 㟨 㟩 㟪 㟫 㟬 㟭 㟮 㟯 㟰 㟱 㟲 㟳 㟴 㟵 㟶 㟷 㟸 㟹 㟺 㟻 㟼 㟽 㟾 㟿 㠀 㠁 㠂 㠃 㠄 㠅 㠆 㠇 㠈 㠉 㠊 㠋 㠌 㠍 㠎 㠏 㠐 㠑 㠒 㠓 㠔 㠕 㠖 㠗 㠘 㠙 㠚 㠛 㠜 㠝 㠞 㠟 㠠 㠡 㠢 㠣 㠤 㠥 㠦 㠧 㠨 㠩 㠪 㠫 㠬 㠭 㠮 㠯 㠰 㠱 㠲 㠳 㠴 㠵 㠶 㠷 㠸 㠹 㠺 㠻 㠼 㠽 㠾 㠿 㡀 㡁 㡂 㡃 㡄 㡅 㡆 㡇 㡈 㡉 㡊 㡋 㡌 㡍 㡎 㡏 㡐 㡑 㡒 㡓 㡔 㡕 㡖 㡗 㡘 㡙 㡚 㡛 㡜 㡝 㡞 㡟 㡠 㡡 㡢 㡣 㡤 㡥 㡦 㡧 㡨 㡩 㡪 㡫 㡬 㡭 㡮 㡯 㡰 㡱 㡲 㡳 㡴 㡵 㡶 㡷 㡸 㡹 㡺 㡻 㡼 㡽 㡾 㡿 㢀 㢁 㢂 㢃 㢄 㢅 㢆 㢇 㢈 㢉 㢊 㢋 㢌 㢍 㢎 㢏 㢐 㢑 㢒 㢓 㢔 㢕 㢖 㢗 㢘 㢙 㢚 㢛 㢜 㢝 㢞 㢟 㢠 㢡 㢢 㢣 㢤 㢥 㢦 㢧 㢨 㢩 㢪 㢫 㢬 㢭 㢮 㢯 㢰 㢱 㢲 㢳 㢴 㢵 㢶 㢷 㢸 㢹 㢺 㢻 㢼 㢽 㢾 㢿 㣀 㣁 㣂 㣃 㣄 㣅 㣆 㣇 㣈 㣉 㣊 㣋 㣌 㣍 㣎 㣏 㣐 㣑 㣒 㣓 㣔 㣕 㣖 㣗 㣘 㣙 㣚 㣛 㣜 㣝 㣞 㣟 㣠 㣡 㣢 㣣 㣤 㣥 㣦 㣧 㣨 㣩 㣪 㣫 㣬 㣭 㣮 㣯 㣰 㣱 㣲 㣳 㣴 㣵 㣶 㣷 㣸 㣹 㣺 㣻 㣼 㣽 㣾 㣿 㤀 㤁 㤂 㤃 㤄 㤅 㤆 㤇 㤈 㤉 㤊 㤋 㤌 㤍 㤎 㤏 㤐 㤑 㤒 㤓 㤔 㤕 㤖 㤗 㤘 㤙 㤚 㤛 㤜 㤝 㤞 㤟 㤠 㤡 㤢 㤣 㤤 㤥 㤦 㤧 㤨 㤩 㤪 㤫 㤬 㤭 㤮 㤯 㤰 㤱 㤲 㤳 㤴 㤵 㤶 㤷 㤸 㤹 㤺 㤻 㤼 㤽 㤾 㤿 㥀 㥁 㥂 㥃 㥄 㥅 㥆 㥇 㥈 㥉 㥊 㥋 㥌 㥍 㥎 㥏 㥐 㥑 㥒 㥓 㥔 㥕 㥖 㥗 㥘 㥙 㥚 㥛 㥜 㥝 㥞 㥟 㥠 㥡 㥢 㥣 㥤 㥥 㥦 㥧 㥨 㥩 㥪 㥫 㥬 㥭 㥮 㥯 㥰 㥱 㥲 㥳 㥴 㥵 㥶 㥷 㥸 㥹 㥺 㥻 㥼 㥽 㥾 㥿 㦀 㦁 㦂 㦃 㦄 㦅 㦆 㦇 㦈 㦉 㦊 㦋 㦌 㦍 㦎 㦏 㦐 㦑 㦒 㦓 㦔 㦕 㦖 㦗 㦘 㦙 㦚 㦛 㦜 㦝 㦞 㦟 㦠 㦡 㦢 㦣 㦤 㦥 㦦 㦧 㦨 㦩 㦪 㦫 㦬 㦭 㦮 㦯 㦰 㦱 㦲 㦳 㦴 㦵 㦶 㦷 㦸 㦹 㦺 㦻 㦼 㦽 㦾 㦿 㧀 㧁 㧂 㧃 㧄 㧅 㧆 㧇 㧈 㧉 㧊 㧋 㧌 㧍 㧎 㧏 㧐 㧑 㧒 㧓 㧔 㧕 㧖 㧗 㧘 㧙 㧚 㧛 㧜 㧝 㧞 㧟 㧠 㧡 㧢 㧣 㧤 㧥 㧦 㧧 㧨 㧩 㧪 㧫 㧬 㧭 㧮 㧯 㧰 㧱 㧲 㧳 㧴 㧵 㧶 㧷 㧸 㧹 㧺 㧻 㧼 㧽 㧾 㧿 㨀 㨁 㨂 㨃 㨄 㨅 㨆 㨇 㨈 㨉 㨊 㨋 㨌 㨍 㨎 㨏 㨐 㨑 㨒 㨓 㨔 㨕 㨖 㨗 㨘 㨙 㨚 㨛 㨜 㨝 㨞 㨟 㨠 㨡 㨢 㨣 㨤 㨥 㨦 㨧 㨨 㨩 㨪 㨫 㨬 㨭 㨮 㨯 㨰 㨱 㨲 㨳 㨴 㨵 㨶 㨷 㨸 㨹 㨺 㨻 㨼 㨽 㨾 㨿 㩀 㩁 㩂 㩃 㩄 㩅 㩆 㩇 㩈 㩉 㩊 㩋 㩌 㩍 㩎 㩏 㩐 㩑 㩒 㩓 㩔 㩕 㩖 㩗 㩘 㩙 㩚 㩛 㩜 㩝 㩞 㩟 㩠 㩡 㩢 㩣 㩤 㩥 㩦 㩧 㩨 㩩 㩪 㩫 㩬 㩭 㩮 㩯 㩰 㩱 㩲 㩳 㩴 㩵 㩶 㩷 㩸 㩹 㩺 㩻 㩼 㩽 㩾 㩿 㪀 㪁 㪂 㪃 㪄 㪅 㪆 㪇 㪈 㪉 㪊 㪋 㪌 㪍 㪎 㪏 㪐 㪑 㪒 㪓 㪔 㪕 㪖 㪗 㪘 㪙 㪚 㪛 㪜 㪝 㪞 㪟 㪠 㪡 㪢 㪣 㪤 㪥 㪦 㪧 㪨 㪩 㪪 㪫 㪬 㪭 㪮 㪯 㪰 㪱 㪲 㪳 㪴 㪵 㪶 㪷 㪸 㪹 㪺 㪻 㪼 㪽 㪾 㪿 㫀 㫁 㫂 㫃 㫄 㫅 㫆 㫇 㫈 㫉 㫊 㫋 㫌 㫍 㫎 㫏 㫐 㫑 㫒 㫓 㫔 㫕 㫖 㫗 㫘 㫙 㫚 㫛 㫜 㫝 㫞 㫟 㫠 㫡 㫢 㫣 㫤 㫥 㫦 㫧 㫨 㫩 㫪 㫫 㫬 㫭 㫮 㫯 㫰 㫱 㫲 㫳 㫴 㫵 㫶 㫷 㫸 㫹 㫺 㫻 㫼 㫽 㫾 㫿 㬀 㬁 㬂 㬃 㬄 㬅 㬆 㬇 㬈 㬉 㬊 㬋 㬌 㬍 㬎 㬏 㬐 㬑 㬒 㬓 㬔 㬕 㬖 㬗 㬘 㬙 㬚 㬛 㬜 㬝 㬞 㬟 㬠 㬡 㬢 㬣 㬤 㬥 㬦 㬧 㬨 㬩 㬪 㬫 㬬 㬭 㬮 㬯 㬰 㬱 㬲 㬳 㬴 㬵 㬶 㬷 㬸 㬹 㬺 㬻 㬼 㬽 㬾 㬿 㭀 㭁 㭂 㭃 㭄 㭅 㭆 㭇 㭈 㭉 㭊 㭋 㭌 㭍 㭎 㭏 㭐 㭑 㭒 㭓 㭔 㭕 㭖 㭗 㭘 㭙 㭚 㭛 㭜 㭝 㭞 㭟 㭠 㭡 㭢 㭣 㭤 㭥 㭦 㭧 㭨 㭩 㭪 㭫 㭬 㭭 㭮 㭯 㭰 㭱 㭲 㭳 㭴 㭵 㭶 㭷 㭸 㭹 㭺 㭻 㭼 㭽 㭾 㭿 㮀 㮁 㮂 㮃 㮄 㮅 㮆 㮇 㮈 㮉 㮊 㮋 㮌 㮍 㮎 㮏 㮐 㮑 㮒 㮓 㮔 㮕 㮖 㮗 㮘 㮙 㮚 㮛 㮜 㮝 㮞 㮟 㮠 㮡 㮢 㮣 㮤 㮥 㮦 㮧 㮨 㮩 㮪 㮫 㮬 㮭 㮮 㮯 㮰 㮱 㮲 㮳 㮴 㮵 㮶 㮷 㮸 㮹 㮺 㮻 㮼 㮽 㮾 㮿 㯀 㯁 㯂 㯃 㯄 㯅 㯆 㯇 㯈 㯉 㯊 㯋 㯌 㯍 㯎 㯏 㯐 㯑 㯒 㯓 㯔 㯕 㯖 㯗 㯘 㯙 㯚 㯛 㯜 㯝 㯞 㯟 㯠 㯡 㯢 㯣 㯤 㯥 㯦 㯧 㯨 㯩 㯪 㯫 㯬 㯭 㯮 㯯 㯰 㯱 㯲 㯳 㯴 㯵 㯶 㯷 㯸 㯹 㯺 㯻 㯼 㯽 㯾 㯿 㰀 㰁 㰂 㰃 㰄 㰅 㰆 㰇 㰈 㰉 㰊 㰋 㰌 㰍 㰎 㰏 㰐 㰑 㰒 㰓 㰔 㰕 㰖 㰗 㰘 㰙 㰚 㰛 㰜 㰝 㰞 㰟 㰠 㰡 㰢 㰣 㰤 㰥 㰦 㰧 㰨 㰩 㰪 㰫 㰬 㰭 㰮 㰯 㰰 㰱 㰲 㰳 㰴 㰵 㰶 㰷 㰸 㰹 㰺 㰻 㰼 㰽 㰾 㰿 㱀 㱁 㱂 㱃 㱄 㱅 㱆 㱇 㱈 㱉 㱊 㱋 㱌 㱍 㱎 㱏 㱐 㱑 㱒 㱓 㱔 㱕 㱖 㱗 㱘 㱙 㱚 㱛 㱜 㱝 㱞 㱟 㱠 㱡 㱢 㱣 㱤 㱥 㱦 㱧 㱨 㱩 㱪 㱫 㱬 㱭 㱮 㱯 㱰 㱱 㱲 㱳 㱴 㱵 㱶 㱷 㱸 㱹 㱺 㱻 㱼 㱽 㱾 㱿 㲀 㲁 㲂 㲃 㲄 㲅 㲆 㲇 㲈 㲉 㲊 㲋 㲌 㲍 㲎 㲏 㲐 㲑 㲒 㲓 㲔 㲕 㲖 㲗 㲘 㲙 㲚 㲛 㲜 㲝 㲞 㲟 㲠 㲡 㲢 㲣 㲤 㲥 㲦 㲧 㲨 㲩 㲪 㲫 㲬 㲭 㲮 㲯 㲰 㲱 㲲 㲳 㲴 㲵 㲶 㲷 㲸 㲹 㲺 㲻 㲼 㲽 㲾 㲿 㳀 㳁 㳂 㳃 㳄 㳅 㳆 㳇 㳈 㳉 㳊 㳋 㳌 㳍 㳎 㳏 㳐 㳑 㳒 㳓 㳔 㳕 㳖 㳗 㳘 㳙 㳚 㳛 㳜 㳝 㳞 㳟 㳠 㳡 㳢 㳣 㳤 㳥 㳦 㳧 㳨 㳩 㳪 㳫 㳬 㳭 㳮 㳯 㳰 㳱 㳲 㳳 㳴 㳵 㳶 㳷 㳸 㳹 㳺 㳻 㳼 㳽 㳾 㳿 㴀 㴁 㴂 㴃 㴄 㴅 㴆 㴇 㴈 㴉 㴊 㴋 㴌 㴍 㴎 㴏 㴐 㴑 㴒 㴓 㴔 㴕 㴖 㴗 㴘 㴙 㴚 㴛 㴜 㴝 㴞 㴟 㴠 㴡 㴢 㴣 㴤 㴥 㴦 㴧 㴨 㴩 㴪 㴫 㴬 㴭 㴮 㴯 㴰 㴱 㴲 㴳 㴴 㴵 㴶 㴷 㴸 㴹 㴺 㴻 㴼 㴽 㴾 㴿 㵀 㵁 㵂 㵃 㵄 㵅 㵆 㵇 㵈 㵉 㵊 㵋 㵌 㵍 㵎 㵏 㵐 㵑 㵒 㵓 㵔 㵕 㵖 㵗 㵘 㵙 㵚 㵛 㵜 㵝 㵞 㵟 㵠 㵡 㵢 㵣 㵤 㵥 㵦 㵧 㵨 㵩 㵪 㵫 㵬 㵭 㵮 㵯 㵰 㵱 㵲 㵳 㵴 㵵 㵶 㵷 㵸 㵹 㵺 㵻 㵼 㵽 㵾 㵿 㶀 㶁 㶂 㶃 㶄 㶅 㶆 㶇 㶈 㶉 㶊 㶋 㶌 㶍 㶎 㶏 㶐 㶑 㶒 㶓 㶔 㶕 㶖 㶗 㶘 㶙 㶚 㶛 㶜 㶝 㶞 㶟 㶠 㶡 㶢 㶣 㶤 㶥 㶦 㶧 㶨 㶩 㶪 㶫 㶬 㶭 㶮 㶯 㶰 㶱 㶲 㶳 㶴 㶵 㶶 㶷 㶸 㶹 㶺 㶻 㶼 㶽 㶾 㶿 㷀 㷁 㷂 㷃 㷄 㷅 㷆 㷇 㷈 㷉 㷊 㷋 㷌 㷍 㷎 㷏 㷐 㷑 㷒 㷓 㷔 㷕 㷖 㷗 㷘 㷙 㷚 㷛 㷜 㷝 㷞 㷟 㷠 㷡 㷢 㷣 㷤 㷥 㷦 㷧 㷨 㷩 㷪 㷫 㷬 㷭 㷮 㷯 㷰 㷱 㷲 㷳 㷴 㷵 㷶 㷷 㷸 㷹 㷺 㷻 㷼 㷽 㷾 㷿 㸀 㸁 㸂 㸃 㸄 㸅 㸆 㸇 㸈 㸉 㸊 㸋 㸌 㸍 㸎 㸏 㸐 㸑 㸒 㸓 㸔 㸕 㸖 㸗 㸘 㸙 㸚 㸛 㸜 㸝 㸞 㸟 㸠 㸡 㸢 㸣 㸤 㸥 㸦 㸧 㸨 㸩 㸪 㸫 㸬 㸭 㸮 㸯 㸰 㸱 㸲 㸳 㸴 㸵 㸶 㸷 㸸 㸹 㸺 㸻 㸼 㸽 㸾 㸿 㹀 㹁 㹂 㹃 㹄 㹅 㹆 㹇 㹈 㹉 㹊 㹋 㹌 㹍 㹎 㹏 㹐 㹑 㹒 㹓 㹔 㹕 㹖 㹗 㹘 㹙 㹚 㹛 㹜 㹝 㹞 㹟 㹠 㹡 㹢 㹣 㹤 㹥 㹦 㹧 㹨 㹩 㹪 㹫 㹬 㹭 㹮 㹯 㹰 㹱 㹲 㹳 㹴 㹵 㹶 㹷 㹸 㹹 㹺 㹻 㹼 㹽 㹾 㹿 㺀 㺁 㺂 㺃 㺄 㺅 㺆 㺇 㺈 㺉 㺊 㺋 㺌 㺍 㺎 㺏 㺐 㺑 㺒 㺓 㺔 㺕 㺖 㺗 㺘 㺙 㺚 㺛 㺜 㺝 㺞 㺟 㺠 㺡 㺢 㺣 㺤 㺥 㺦 㺧 㺨 㺩 㺪 㺫 㺬 㺭 㺮 㺯 㺰 㺱 㺲 㺳 㺴 㺵 㺶 㺷 㺸 㺹 㺺 㺻 㺼 㺽 㺾 㺿 㻀 㻁 㻂 㻃 㻄 㻅 㻆 㻇 㻈 㻉 㻊 㻋 㻌 㻍 㻎 㻏 㻐 㻑 㻒 㻓 㻔 㻕 㻖 㻗 㻘 㻙 㻚 㻛 㻜 㻝 㻞 㻟 㻠 㻡 㻢 㻣 㻤 㻥 㻦 㻧 㻨 㻩 㻪 㻫 㻬 㻭 㻮 㻯 㻰 㻱 㻲 㻳 㻴 㻵 㻶 㻷 㻸 㻹 㻺 㻻 㻼 㻽 㻾 㻿 㼀 㼁 㼂 㼃 㼄 㼅 㼆 㼇 㼈 㼉 㼊 㼋 㼌 㼍 㼎 㼏 㼐 㼑 㼒 㼓 㼔 㼕 㼖 㼗 㼘 㼙 㼚 㼛 㼜 㼝 㼞 㼟 㼠 㼡 㼢 㼣 㼤 㼥 㼦 㼧 㼨 㼩 㼪 㼫 㼬 㼭 㼮

「マスター・ビール」のCMに、小杉雄太が出てたじゃないですか。サインとか、もらっちゃったりしましたか？」
「そうね、くださいとお願いすれば、いただけたと思いますけど。いっしょに仕事をする人ですから、そういうことはお願いしませんね」

「えー、もったいない」

だんだん教室が騒がしくなった。

加奈が手も挙げずに、質問を投げかけた。

「江口くんって、どんな人ですか？」

江口龍は、テレビCMの中で「チーズ・イン・せんべい」を十五秒間に三十枚食べた人気タレントだ。

「あー、江口くんね。そうね、テレビで見る通りの、とつてもすてきな青年ですよ。脚は長いのに、くつのサイズは二十五です」

女の子たちが、「きゃー」と、叫んだ。

江口は身長が百八十センチもある。なのに、くつのサイズが二十五だと、かっこいいのかわからない。ママは、ほかに江口の長所(?)を思いつかなかったのだろう。

⑩ うちで夕ご飯を食べながら、ぼくにぐちったことは公の場ではいわないのだ。

「あんなおバカ、見たことない。たった五行の台詞も覚えられないのよ。おかげで、撮影終わらなかったじゃない。」

おまけに、長い脚をこれ見よがしにくつのまま、椅子やテーブルにつけて。ほんと、やなやつ。どういいうしつけを受けたんじや。親の顔が見てみたい」

ママが江口のくつのサイズを知っているのは、テーブルに突き出された足にがまんがならず、皮肉たつぷりに、「くつのサイズはおいくつ？」って、聞いたからだ。

ママの特別授業は、静かな興奮とでもいうべき余韻を残して終わった。ぼくが想像していたのとは、全くちがっていた。子どもを相手に話しても、ママはあくまでもプロの姿勢をくずさなかった。

「成瀬くんのお母さん、かっこいいね」

「すごいお母さんだね」

女の子たちが口々に、そんな言葉をささやいてきた。

ぼくはむつりして、顔も上げなかった。実は、ぼく自身もそう思ったからだ。初めてそう思ったからだ。ママを誇らしく思ったからだ。でも、それを素直に認める気にはなれなかった。

その日の午後、家に帰ると、ママはすでに東京に戻ったあとだった。

「何度も仕事の電話が入ってね。ぶつくさいいながら、会社に行きましたよ。今日ぐらい、ゆつくり休めばいいのにね」
と、おばあちゃんがいった。

約束していた夕食の焼き肉はすっぱかされたけど、ぼくはある意味、ほっとしていた。今夜だけは、ママと顔を合わせたくなかった。

ママがいれば、必ず授業の感想を聞かれただろう。自分が感じたことは、うまく言葉にできないし、第一、意地でもいいいなかった。同級生の賞賛の言葉も伝えたくない。「みんなが、すごいお母さんだね、かっこいい、っていつてた」なんて……うそやお世辞じゃないからこそ、よけいにそんなこと、いいにくかった。

それに……。

⑪ 仕事のできるママのかけには、いつだってその犠牲になってるぼくがいる。そのぼくが感心してどうするよ？
ひねくれて、すねた気持ちがくすぶっていた。 (今井恭子『ぼくのわがまま宣言』による)

* 1 佐久間のおじさん……一学期に行われた職業紹介の授業の講師を務めた。「スーパー・サクマ」のオーナーで、クラスメートの佐久間のお父さん。

* 2 プレゼン……プレゼンテーションの略。計画・企画案などを会議などの席で発表・提示すること。

問一、——線①「そういうお仕事」とありますが、「先生」はどういう「お仕事」だと言っていますか。本文中から抜き出して答えなさい。

問二、——線②「いやな予感」とありますが、どういうことを「予感」したと考えられますか。二十字以内で具体的に答えなさい。

問三、——線③「ぼくは首を回して、咲良を思いっきりにらみつけた」とありますが、「ぼく」が「咲良」を「にらみつけた」理由として考えられる最も適切なものを、次の(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 咲良が前回の職業紹介の特別講師である佐久間のおじさんの話を面白くないと言っていたから。
- (イ) 咲良が前回の特別授業の後に、意味深な目で「ぼく」をふり返ったのを思い出したから。
- (ウ) 咲良が先生に職業紹介の特別講師として「ぼく」の「ママ」を推薦したのではないかと思ったから。
- (エ) 咲良が職業紹介の特別講師として「ぼく」の「ママ」を前から希望していたことを知っていたから。

問四、——線④「想像するだけでうんざりだ」とありますが、実際に「ママ」の話を聞き終えた「ぼく」が思ったことが読み取れる部分を、本文中から十字で抜き出して答えなさい。

問五、——線⑤「がんばり方がちがうだろう」とありますが、どういう気持ちから発せられた言葉ですか。最も適切なものを、次の(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) がんばって休みを取るなら、「ぼく」のために取るのではなく、休息のために取ってほしいという気持ち。
- (イ) がんばって休みを取るなら、特別授業のためではなく、「ぼく」のためになるように取ってほしいという気持ち。
- (ウ) がんばって休みを取るために特別授業を引き受けるのは、「ぼく」のためにはならないという気持ち。
- (エ) がんばって休みを取るために特別授業を引き受けるのは、「ママ」のためにはならないという気持ち。

問六、——線⑥に当てはまる最も適切な言葉を、次の(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) おれのうちとはちがうんだからさ
- (イ) おれの気持ちがわかったか
- (ウ) おまえも立場ねーよな
- (エ) ほーら、言ったとおりだろ

問七、——線⑦「なかなか寝つけなかった」とありますが、このときの気持ちとして当てはまらないものを、次の(ア)～(エ)の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- (ア) 明日は特別授業なのに、「ママ」が目立つ姿で来るのではないかという不安。
- (イ) 明日は特別授業なのに、「ママ」がまだ帰って来ないことへの心配。
- (ウ) 明日の特別授業で、「ママ」がプレゼンのような授業をするだろうという期待。
- (エ) 明日の特別授業で、「ママ」がみんなの前で話することへの恥はずかしさ。

問八、——線⑧「地味ーなかつこう」とありますが、「ママ」の「地味」な「なかつこう」を本文中から抜き出し、その最初と最後の五字を答えなさい。

問九、——線⑨「みんな、なんとなくそわそわしていた」とありますが、「みんな」が「そわそわしていた」理由として最も適切なものを、次の(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) クラスメートの母親から、宣伝の仕事の目的について話してもらったことを期待していたから。
- (イ) ノートパソコンやプロジェクターを用いたプレゼンは初めての経験であり、興奮していたから。
- (ウ) 東京の広告代理店で働く人から聞く、CM制作についての具体的な話に興味を持っていたから。
- (エ) 野球選手や人気タレントが出たCMを撮影した時の話を聞けることを楽しみにしていたから。

問十、——線⑩ A C に当てはまる言葉を、次の(ア)～(オ)の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- (ア) しげしげ (イ) ひらひら (ウ) ぶらぶら (エ) のろのろ (オ) ぎろぎろ

問十一、——線⑪「それ」の指していることを答えなさい。

問十二、——線⑫「こういう宣伝の方法」とありますが、具体的に書かれている部分を本文中から抜き出し、その最初と最後の五字を答えなさい。

問十三、——線⑬「お人形は売れないんです」とありますが、「売れ」るために必要な条件は何だと説明していますか。本文中の言葉を使って、二点、二十字以内でそれぞれ答えなさい。

問十四、——線⑭「みんな息をひそめるようにして、一心に耳を傾けていた」とありますが、この時の「みんな」の状態を表した熟語を本文中から抜き出して答えなさい。

問十五、——線⑮「ママは一分の誤差もなく、きっちり話をまとめた」とありますが、「ぼく」は最初どういうふうになると思っていたのですか。そのことが示されている一文を本文中から抜き出し、その最初の五字を答えなさい。

問十六、——線⑯ に当てはまる漢字一字を答えなさい。

問十七、——線⑰「醍醐味」の意味として適切なものを、次の(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 物ことの深い味わい。
- (イ) 物ことの本質を見抜くこと。
- (ウ) 物ことの本質を理解すること。
- (エ) 物ことの本当のやりがい。

問十八、——線⑱「ぼくにぐちったことは公の場ではいわないのだ」とありますが、「こ」には「ママ」のどのような姿が示されていますか。本文中から五字で抜き出して答えなさい。

問十九、——線⑲「ひねくれて、すねた気持ちがくすぶっていた」とありますが、「ぼく」はなぜそういう「気持ち」になっているのですか。最も適切なものを、次の(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- (ア) 自分の犠牲の上にママの成功があるのに、自分のことは誰も認めてくれないから。
- (イ) 自分の犠牲の上にママの成功があるのに、ママはそのことを認めてくれないから。
- (ウ) ママを認めることは、自分の劣等感^{れつとうかん}を肯定^{こうてい}することになるので、認められないから。
- (エ) ママを認めることは、自分の犠牲に目をつぶることになるので、認められないから。

二、次の①～⑤の□に当てはまる言葉を、それぞれ(ア)～(エ)の中から選び、記号で答えなさい。

- ① □ パワーを見せつける。
 (ア) 捨て身の (イ) とんきような (ウ) ずさんな (エ) けた外れの
- ② サッカーの試合は□を迎えた。
 (ア) 理詰め (イ) 大詰め (ウ) 有頂天 (エ) 独壇場どたんじょう
- ③ シュートが□決まる。
 (ア) ひらに (イ) つぶさに (ウ) 小気味よく (エ) おくめんもなく
- ④ 母は□いやな顔をした。
 (ア) あわよくば (イ) あからさまに (ウ) うかつに (エ) あつらえ向きに
- ⑤ おほめいだいて□光榮です。
 (ア) 身に余る (イ) のつびきならない (ウ) つまびらかに (エ) はからずも

三、次の①～⑤の慣用句とほぼ同じ意味の言葉を、後の(ア)～(ク)の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

- ① 舌を巻く
 ② こしを上げる
 ③ うでを上げる
 ④ かたを貸す
 ⑤ 目から鼻にぬける

(ア) 感心	(イ) 上達	(ウ) 予感	(エ) 実行
(オ) 軽視	(カ) 助力	(キ) 残念	(ク) 利口

四、次の①～⑩の——線をつけたカタカナは漢字に、漢字はひらがなに直しなさい。

- ① ヨウジ 向けの絵本。
 ② ヒンジャク な内容の本。
 ③ 主君にチュウセイをつくす。
 ④ 筋肉はシュウシュクする。
 ⑤ あの家はカクシキが高い。
 ⑥ チョウド 電車で間に合った。
 ⑦ ウチワ もめして、意見がまとまらない。
 ⑧ 春の日長を野原で遊ぶ。
 ⑨ 強風にあおられ延焼する。
 ⑩ 寄宿舎に入る。

総点

問一

問二

問四

問七

問九

問十二

問十二

問十三

問十八

問十九

問三

問五

問六

最後

問八 最初

問十 A

B

C

最後

最初

問十四

問十五

問十六

問十七

二 三 四

①	①
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤

⑥	①
⑦	②
⑧	③
⑨	④
⑩	⑤

受験番号

氏名